



JPI催しのご案内

2023
10

公益社団法人日本包装技術協会

— 2023年度の本催しについて —

2023年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時 ① 令和5年10月4日(水) 13:30～15:00 / ② 令和5年10月19日(木) 13:30～14:30
③ 令和5年10月24日(火) 13:30～15:00 / ④ 令和5年10月26日(木) 10:00～11:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

① 令和5年10月4日(水) 13:30～15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】「容器包装2030」持続可能な容器包装の実現

アサヒ飲料は持続可能な容器包装の実現に向けた2030年までの目標を設定し、2019年に公表した。さらに2022年にはPETボトルを100%環境配慮素材に切り替えることを目標に追加した。現時点で100%環境配慮を実現可能なPET材料はメカニカルリサイクルPETのみであり、その他候補となるケミカルリサイクルPET、バイオマスPETは更なる技術開発が必要である。我々は、これら3種の環境配慮PETをその特徴に応じ適正な比率で使用する必要があると考えており、今後の技術開発動向に注目している。
今回はキャップ、ラベルを含むPETボトル製品への対応を中心に当社の取組を紹介する。

【講 師】アサヒ飲料株式会社 技術研究所 所長

張 義 宏 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて **参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：上西・佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 令和5年10月19日(木) 13:30~14:30 JPI中部支部主催

【テーマ】 輸送中の荷台振動の加速度PSDを簡易に取得する方法の提案

輸送中のトラックの加速度パワースペクトル密度 (PSD) の取得には、運送車両の荷台に高性能な加速度計測ロガーを取り付けて輸送区間全体を測定する必要があるため、計測は容易ではありません。そこで、加速度PSDを振動特性 (PSD形状と加速度実効値) と発生要因 (車両と道路) により要素分解することで、比較的簡易に加速度PSDを取得する方法を検討しました。その結果、短時間 (5分程度) の瞬時加速度波形と輸送経路中の加速度実効値により輸送経路の加速度PSDを取得する方法と、輸送経路中の加速度実効値を異なる車両による計測で代替する方法を提案しました。本方法を用いることで運送車両による計測を削減することが可能となるため、比較的簡易に輸送環境調査を実施可能となると考えられます。

【講師】 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 製品信頼性研究部 研究員

堀 口 翔 伍 氏

③ 令和5年10月24日(火) 13:30~15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】 環境を意識した包装設計への取組み事例

環境に配慮した包装設計の事例として、リサイクル可能なダンボールを使用した包装や最小限の素材で必要な保護機能を果たすことができるエコフレンドリーなデザインの設計事例の紹介。

また、包装材の減プラやエコ素材を使用した設計などの取組を紹介いたします。

事例

- ・材料使用量を〇%削減 ○〇梱包材
- ・発泡材から段ボールへの切り替え
- ・医療用模擬肺の減プラ
- ・包装材もハイブリッドの時代！ 発泡材と段ボールの混合包装

【講師】 カネパッケージ株式会社 設計部・課長

中 村 圭 介 氏

④ 令和5年10月26日(木) 10:00~11:30 JPI関西支部主催

【テーマ】 ステルスインクを使用したトレーサビリティについて

産業用インクジェットプリンターメーカーには、時代の変化と共に多種多様なニーズが寄せられており、機械だけではなくインクの開発も必須になっている。当社では、日々更新されるニーズに対応するため、顧客ニーズをキャッチする情報収集能力や、それを具現化するための技術力など総合的な「対応力」を向上させ、ニーズの一步先を行く製品を開発・提供している。今回は、その対応力の一つであるステルスインクについて紹介する。

【講師】 紀州技研工業株式会社 営業本部長

塩 崎 智 之 氏

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会 (ウェビナー) です。
- お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ※**ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意ください。**
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>